

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

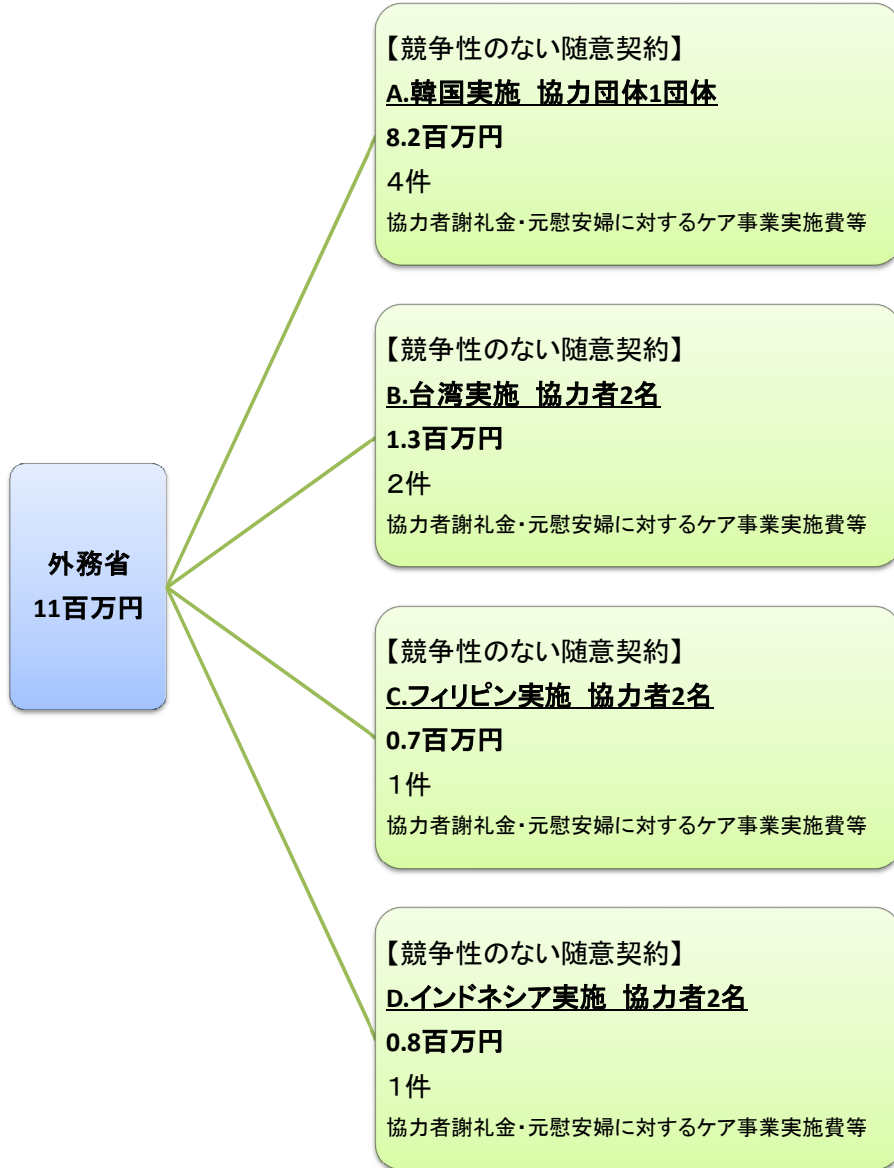
事業名	アジア紛争下での女性尊厳事業		担当部局庁	アジア大洋州局・南部アジア部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度開始		担当課室	地域政策課		課長 伊従誠		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条、外務省組織令第39条		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年3月末をもって解散した財団法人「女性のためのアジア平和国民基金」(アジア女性基金)の活動を通じて築かれた各国関係者とのネットワークを活用し、外部団体ないし個人に業務を委託し、同基金の行ってきた事業を適切にフォローアップすることを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	韓国、台湾、フィリピン各地に在住する元慰安婦を巡回し、医療及び福祉の面で直接的な支援を行っている。元慰安婦は既に高齢であり、その大部分の方が身体が不自由で寝たきりの方も多いため、それぞれを巡回訪問しながら対象者の近況を確認し、情報収集及び各国の元基金関係者とのネットワークを維持している。インドネシアに関しては、元慰安婦の認定が困難であること、また、元慰安婦の方々やその家族の尊厳を守らなくてはならないことから、個人に対する事業ではなく、医療福祉施設への支援・視察及びインドネシア政府関係者との意見交換等を中心に事業を実施している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度要求	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	13	10	12	16		
	執行額	9	9	11				
	執行率(%)	72	91	92				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	アジア女性基金に表れた日本国民の本問題に対する真摯な気持ちに理解が得られることを目標に本フォローアップ事業を行っている。所期の目的を達した出張回数を成果指標とする。	成果実績	回数		7	8	8	9
		達成度	%		100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	韓国、台湾、フィリピン、インドネシアへの出張		活動実績 (当初見込み)	回数	7	8	8 (8)	- (9)
単位当たりコスト	1,784千円/1回(訪問)		算出根拠	9回実施分経費合計16,059千円				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	旅費	6						
	医療費他	10						
計	16							

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、慰安婦問題をめぐり国内外の関心が高い中、ILOをはじめとする国際会議の場においても我が国の本問題への取組を求める声が高まっている。こうした中、我が国の本問題に対する真摯な姿勢がゆるぎないものであることを示す意味でも、日本政府全体で取組むべき事業であり、地方自治体や民間等に委ねるべき性質の事業ではない。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	本事業を行うにあたっては、アジア女性基金が行ってきた事業に関わる人脈を深く広く有しているということのみならず、元慰安婦のプライバシーが守られることが必要とされるため、これらの前提を十分理解し、実行しうる団体等に本件を委託することが適当。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業の執行は、アジア女性基金が行ってきた事業に関わる人脈を深く広く有する団体が行っており、その人脈により必要なケア等を現地で効率よく行うことができる。活動は、対象者等からのヒアリングに基づいて計画され、実行されており、着実に達成している。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	事業番号 類似事業名 所管府省・部局名					
点検結果	●各国の事情により、業務を委託している団体ないし個人が全行程の準備及び実施を請け負う国もあれば、通訳手配や移動等を我が方大使館や総領事館の協力を得て実施している国もある。そのため執行状況やコストには引き続き多少ばらつきがあるが、効率的に予算執行がされるよう各実施団体に働き掛けており、結果として単位あたりのコストは妥当な水準となっている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	325	平成24年	228

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



個別事業名:

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	5.5			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	2.7			
計		8.2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	0.9			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	0.4			
計		1.3	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	0.2			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	0.5			
計		0.7	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	航空運賃, 日当, 宿泊料	0.1			
委託費	協力者謝礼金, ケア医療費	0.7			
計		0.8	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体A	韓国におけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療福祉支援等	8.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体B	台湾におけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療福祉支援等	1.3		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体C	フィリピンにおけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療福祉支援等	0.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協力団体D	インドネシアにおけるいわゆる元従軍慰安婦の方への巡回訪問, 医療福祉支	0.8		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					